

案件化調査 モザンビーク共和国 ろ過材交換不要のろ過装置による持続可能な飲料水供給事業

企業・サイト概要

- 提案企業：日本原料株式会社
- 提案企業所在地：神奈川県川崎市
- サイト・C/P機関：ナカラ回廊(ニアッサ州・ザンベジア州・ナンプラ州)・ニアッサ州公共事業住宅局

モザンビーク国の開発課題

- 2015年までに村落部における安全な水へのアクセス率70%を目標としているが、25%(ニアッサ州)と周辺諸国と比較して低い状況にある。
- 長年続いた内戦により基礎的なインフラが荒廃しているため、社会インフラ整備が課題である。

中小企業の技術・製品

- 「シフォン洗浄」技術を用いて、ろ過材を洗浄することによってろ過材の交換が不要になり、持続可能な飲料水を供給することが出来る。
- 無電源ろ過装置を用いることで、無電化地域において水供給が可能となる。
- 車載型のろ過装置は給水車を用いることで、小規模な村落地域に配水することが出来る。また、非常時の給水も可能となる。

調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- 「シフォンタンク」、「モバイルシフォンタンク」、「無電源ろ過機」が普及することにより、安全な水へのアクセス率が向上する。
- 安全で衛生的な水を供給することで、水汲み作業を担っている子供や女性の水汲み時間が短縮される。

日本の中小企業のビジネス展開

- シフォンタンクの販売店となり得る現地パートナー企業を選定し、国内での展開を図る。
- モザンビーク国をモデルケースとして、民間企業や他国へ販路を拡大する。

